

日米投信概況

高市トレードでも注目の防衛・サイバーセキュリティ関連ファンドの世界投資家動向、米国ではデジタル資産(ビットコイン等)が過去2番目に大きな純流入！

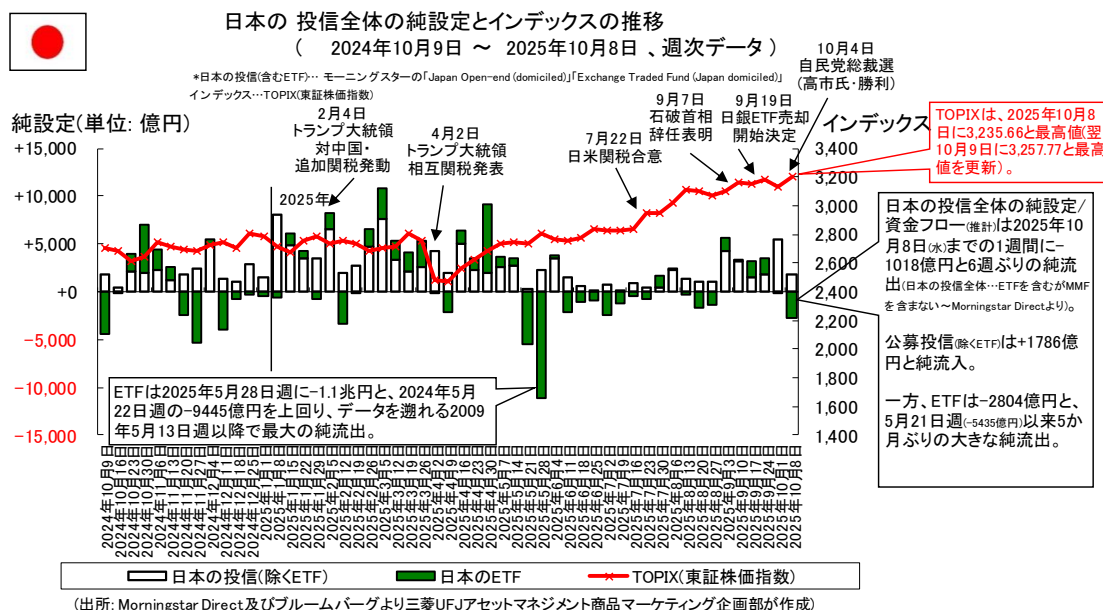
三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp) 窪田真美 (mamii-kubota@am.mufg.jp)

- 日本では投信が6週ぶりの解約超！ ゴールド/金は設定超だがETFが大きな解約超!! 日本株投信は高市自民総裁誕生を受けての株高で利食いの解約超.....p.1
 〈高市トレードでも注目の防衛・サイバーセキュリティ関連ファンドの世界投資家動向〉.....p.4
- 米国ではデジタル資産(ビットコイン等)が過去2番目に大きな純流入！p.6

●日本では投信が6週ぶりの解約超！ ゴールド/金は設定超だがETFが大きな解約超!! 日本株投信は高市自民総裁誕生を受けての株高で利食いの解約超 〈高市トレードでも注目の防衛・サイバーセキュリティ関連ファンドの世界投資家動向〉

日本籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計を見ると、2025年10月8日(水)までの1週間に**-1,018億円と6週ぶりの純流出**(日本籍投信全体...ETFを含むがMMFを含まない~Morningstar Directより)。

日本籍公募投信(除くETF)は2025年10月8日(水)までの1週間に+1,786億円と純流入だったが、**日本籍ETFは2025年10月8日(水)までの1週間に-2,804億円と、5月21日週(-5,435億円)以来5か月ぶりの大きな純流出**となった(うち日本株ETFは-2,093億円~日次フローは後述)。日銀は2025年9月19日に保有するETF売却開始を決定したが(後述)、翌週以降、2週連続で日本のETFは純流出となっている(9月24日週+1,664億円→10月1日週-81億円→10月8日週-2,804億円)。



日本籍公募投信(除くETF)の10月8日週の純設定額+1,786億円について分類別に見る。純流入1～3位はグローバル株、米国株、商品/コモディティ。純流出1～3位は日本株大型グロース、トレーディング・レバレッジド/インバース、米国REIT。商品/コモディティの純流入はゴールド/金による所が大きい。**ゴールド/金は引き続き堅調な純流入である**(世界のゴールド/金ファンド…2025年5月12日付投信調査レポートNo.438「世界のゴールド/金ファンド月次動向(ETFを含む)月次流出入」～ https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/report_39613.pdf。10月8日週に+737億円(8月27日週+290億円→9月3日週+272億円→9月10日週+493億円→9月17日週+423億円→9月24日週+612億円→10月1日週+1166億円→10月8日週+737億円)。その後10月9日・10日は2日間で計+629億円の純流入(*日本籍公募投信(除くETF)には日本籍ETFのファンド・オブ・ETF/fund of ETFsを含む～

2025年1月27日付投信調査コラムNo.418「日本でETFは金銭信託型とファンド・オブ・ETFにより拡大? 米国やインド等のETF拡大にも寄与～現物設定・現物交換型と金銭設定・金銭償還型ETFとETN～」～ https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/column_350127.pdf)o

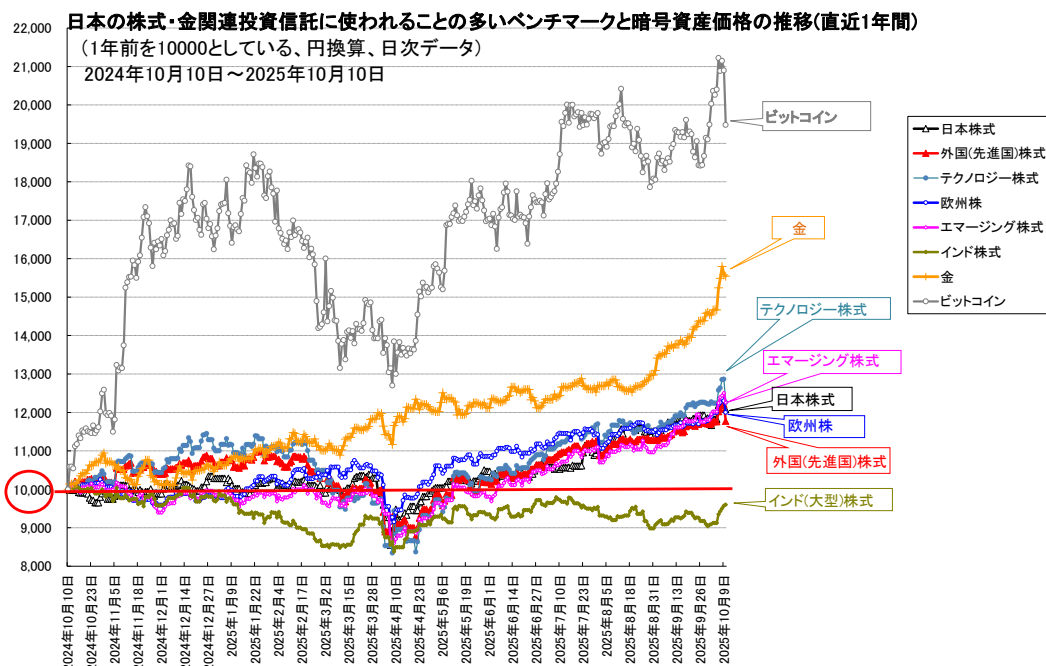
日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順) 2025-10-08現在

***ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	World Equity	+123,800	+146,683	+457,957	25,494,455	グローバル株
2	US Equity	+81,144	+44,997	+172,063	30,050,400	米国株
3	Commodity	+48,979	+63,229	+176,470	2,409,496	商品
4	World ex-Japan Equity	+12,273	+72,330	+153,540	15,652,591	グローバル株-日本を除く
5	Global Emerging Markets Equity	+11,898	+3,199	+16,829	1,692,321	エマージング株-グローバル
6	World Bond	+10,150	+5,586	+18,435	1,890,081	グローバル債
7	Moderately Aggressive Allocation	+8,105	+20,858	+39,974	5,031,552	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
8	Other Allocation	+7,398	+6,334	+17,965	735,278	その他アロケーション
9	World Bond - JPY Hedged	+7,264	-328	+3,742	1,690,973	グローバル債-円ヘッジ
10	Aggressive Allocation	+6,977	+12,439	+33,742	986,984	アグレッシブ・アセットアロケーション
74	Japan Specialty Equity	-4,458	+14,115	+4,402	989,129	日本・特定テーマ/セクター株
75	World ex-Japan Bond - JPY Hedged	-4,831	+183	-6,487	1,130,055	グローバル債-日本を除く-円ヘッジ
76	US High Yield Bond	-5,869	+1,312	-3,890	1,496,779	米国・ハイイールド債
77	Japan REIT	-6,323	+4,948	+3,426	2,322,206	日本REIT
78	India Equity	-7,416	-3,660	-21,253	2,819,150	インド株
79	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	-7,443	+3,756	-2,626	1,477,659	日本株中小型バリュー
80	Moderate Allocation	-8,857	+5,326	+1,604	4,837,388	モデレート・アセットアロケーション
81	US REIT	-12,119	-561	-13,163	2,212,314	米国REIT
82	Trading - Leveraged/Inverse	-15,682	+6,760	-22,268	714,841	トレーディング・レバレッジド/インバース
83	Japan Large-Cap Growth Equity	-41,643	+27,499	-44,254	8,200,141	日本株大型グロース
	全83分類の合計	+178,622	+542,275	+1,054,987	164,395,152	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	+4.55	-1.49	+3.97		
	S&P500	+0.65	+1.12	+3.48		
	MSCI ワールド	+0.70	+1.14	+3.18		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数。



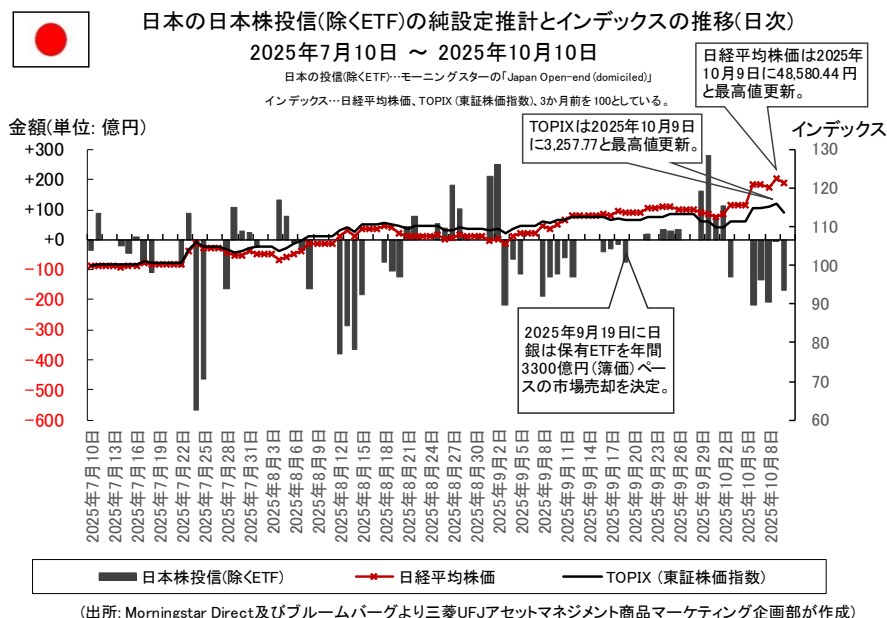
(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成) *ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している。

日銀のETF売却決定発表後の日本株投信日次純流出入を見る

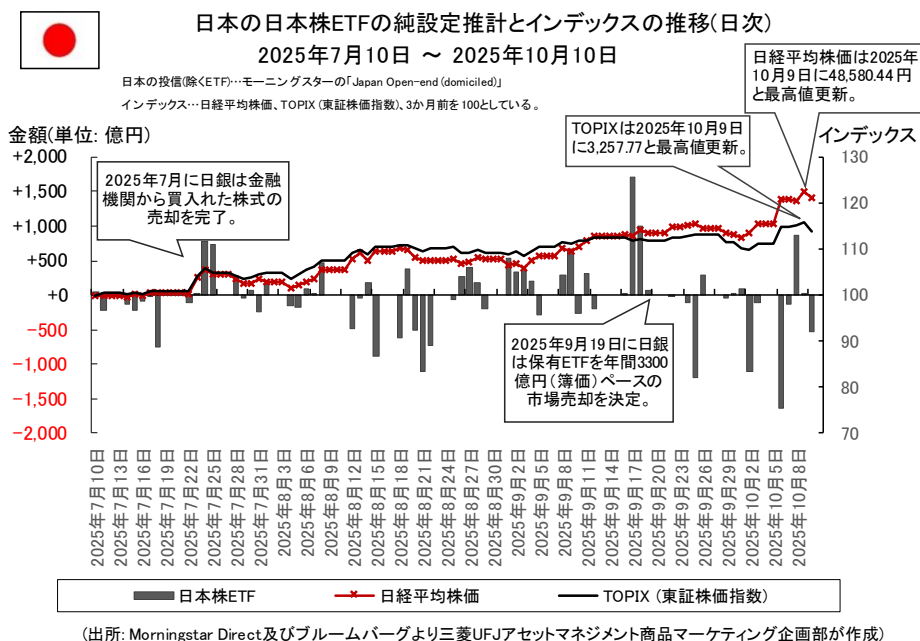
(日銀ETF売却については2025年9月29日付投信調査レポートNo.444「日銀ETF売却発表前後の日米での日本株投信日次純流出入～100年は高リスク・流動性低下・企業統治問題? 日本版SWF(政府系ファンド)や20年案～」https://www.mufg.jp/report/investigate/report_250929.pdf)。日本株投信(除くETF)は9月3日～9月19日に12営業日連続で解約超だったが、**日銀ETF売却発表後の9月22日～10月2日は設定超が続き、10月3日に9営業日ぶり解約超、10月10日にかけて6営業日連続の解約超。**10月4日の高市自民総裁誕生を受けての株高で利食いの解約超と思われる(高市自民総裁誕生および10月10日引け以降の公明党連立離脱方針、首相指名選挙などについては2025年10月14日付投信調査コラムNo.431「高市早苗氏と資産運用～英ISA(の前身PEP)の生みの親・サッチャー氏が目標、NISA生みの親・麻生氏が後ろ盾、NISA推進派・片山金融調査会会長が推薦人の自民党新総裁はフランスの様な政治混乱の中でサナエノミクスをどう実行?～」<https://www.mufg.jp/report/investigate/>)。

日本株投信(除くETF)は9月3日～9月19日に12営業日連続で解約超だったが、**日銀ETF売却発表後の9月22日～10月2日は設定超が続き、10月3日に9営業日ぶり解約超、10月10日にかけて6営業日連続の解約超。**10月4日の高市自民総裁誕生を受けての株高で利食いの解約超と思われる(高市自民総裁誕生および10月10日引け以降の公明党連立離脱方針、首相指名選挙などについては2025年10月14日付投信調査コラムNo.431「高市早苗氏と資産運用～英ISA(の前身PEP)の生みの親・サッチャー氏が目標、NISA生みの親・麻生氏が後ろ盾、NISA推進派・片山金融調査会会長が推薦人の自民党新総裁はフランスの様な政治混乱の中でサナエノミクスをどう実行?～」<https://www.mufg.jp/report/investigate/>)。

身PEP)の生みの親・サッチャー氏が目標、NISA生みの親・麻生氏が後ろ盾、NISA推進派・片山金融調査会会長が推薦人の自民党新総裁はフランスの様な政治混乱の中でサナエノミクスをどう実行?～」<https://www.mufg.jp/report/investigate/>)。



日本株ETFは、日銀ETF売却発表直後の**9月22日(月)～25日(木)や、10月2日(木)～10月7日(火)は解約超で、特に9月25日(木)-1,204億円、10月2日(木)-1,101億円、10月6日(月)-1,628億円は大きな解約超。**その後、10月8日(水)+869億円、10月9日(木)+12億円と設定超も、10月10日(金)は-523億円と再び解約超となっている。



●高市トレードでも注目の防衛・サイバーセキュリティ関連ファンドの世界投資家動向

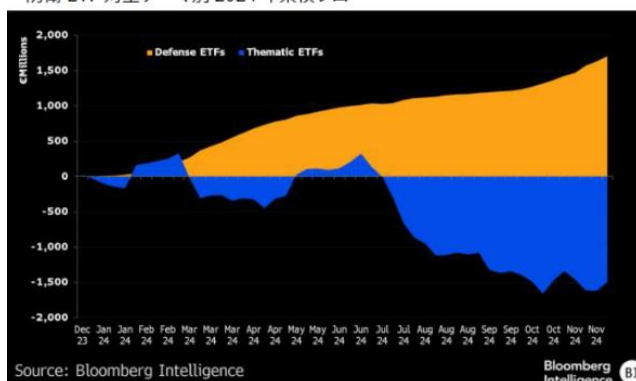
2025年10月4日に自民党総裁に選出された高市早苗氏が掲げる経済政策“サナエノミクス/Sanaenomics”、“高市トレード/Takaichi trade”でも注目の防衛・サイバーセキュリティ関連ファンドの世界投資家動向を見る(高市早苗総裁選特設サイト「防衛力」)

と「外交力」の強化、サイバーセキュリティ対策の強化」～ <https://newsroom.sanae.com/>、高市自民総裁誕生および10月10日引け以降の公明党連立離脱方針、首相指名選挙、高市早苗氏が掲げる経済政策“サナエノミクス”および“高市トレード”については2025年10月14日付投信調査コラムNo.431「高市早苗氏と資産運用～英ISA(の前身PEP)の生みの親・サッチャー氏が目標、NISA生みの親・麻生氏が後ろ盾、NISA推進派・片山金融調査会会長が推薦人の自民党新総裁はフランスの様な政治混乱の中でサナエノミクスをどう実行?～」～ <https://www.am.ufj.jp/report/investigate/>。)

なお、「高市トレードでも注目」と言ったのは、欧州ではロシアがウクライナへの侵攻を始めた2022年2月24日からのロシア・ウクライナ戦争/Russia-Ukraine Warを背景に、2023年3月31日に“Defense ETF”で知られる防衛産業に焦点を当てたETF「VanEck Defense UCITS (DFNS LN)」が設定されて、2023年6月30日には“NATO ETF”で知られる北大西洋条約機構/North Atlantic Treaty Organization/NATO加盟国および同盟国に拠点を置く企業に投資してサイバーセキュリティ企業へのエクスポージャーも提供するETF「(HANetf)Future of Defence UCITS ETF (NATO LN)」が登場、欧州主導で設定超が加速、その後米国で設定超が加速してきた(2024年12月19日～2025年1月9日付Bloomberg Intelligence「25 ETFs for '25」～

<https://www.bloomberg.com/professional/products/bloomberg-terminal/research/bloomberg-intelligence/>。)

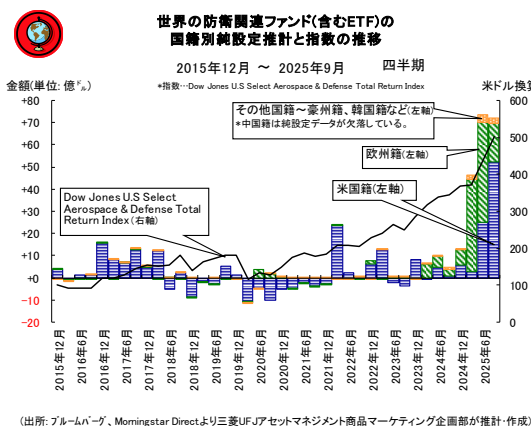
防衛 ETF 対全テーマ別 2024 年累積フロー



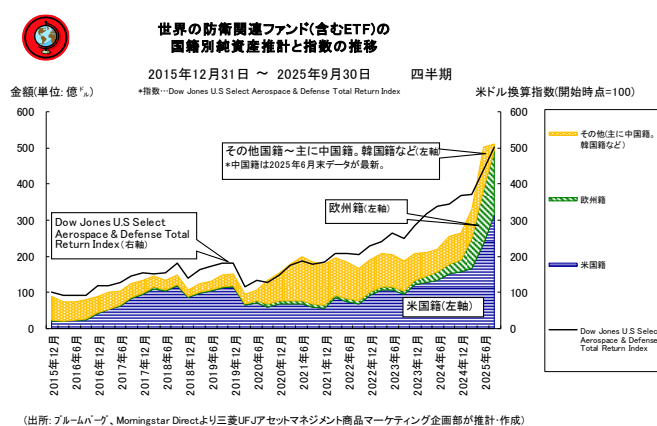
ファンドヨーロッパ/Funds Europeは2025年8月29日に「NATO ETF」の立ち上げ以来、HANetfは「Future of European Defence Ucits ETF」と「Future of Defence Indo-Pac ex-China Ucits ETF」という2つの戦略を追加し、防衛関連商品群を拡大してきた。」と報じている(2025年8月29日付Funds Europe/HANetf expands with Nato ETF in Poland」～ <https://funds-europe.com/fundef-expands-with-nato-etf-in-poland/>。)

<世界の防衛関連ファンド>

防衛関連株に投資する世界のファンド(ETF含む)を国籍別に見る。米国籍の防衛関連ファンドは2025年7-9月に+52億ドル/約7,800億円と過去最大の純流入。米国籍に先立ち、欧州籍の防衛関連ファンドは2025年4-6月に+45億ドル/約7,100億円と過去最大の純流入。2025年に入り流入が加速している。中国籍は純設定のデータが無く、純資産も最新で2025年6月末と限定的であるが、2025年6月末純資産が104億ドルと、同時期の米国籍230億ドルの半分弱、欧州籍152億ドルの約7割の規模で、その他国籍の大半を占めている。

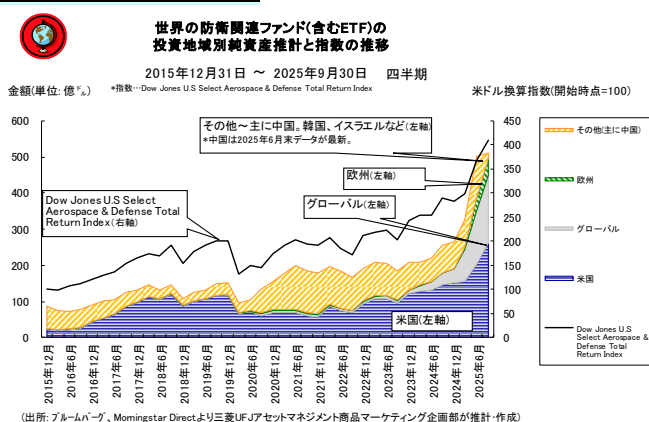
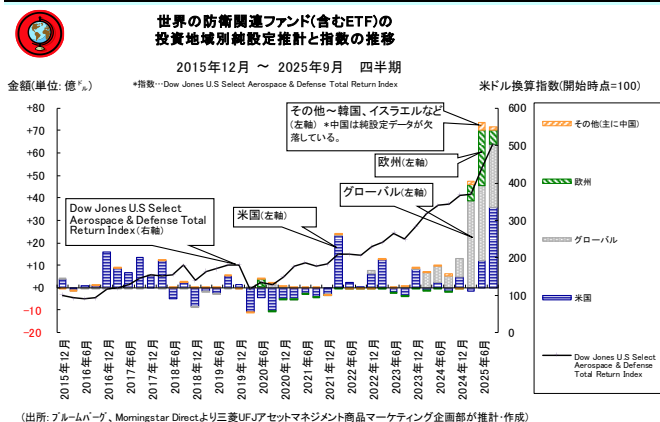


(出所: プルムバーク、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が推計・作成)



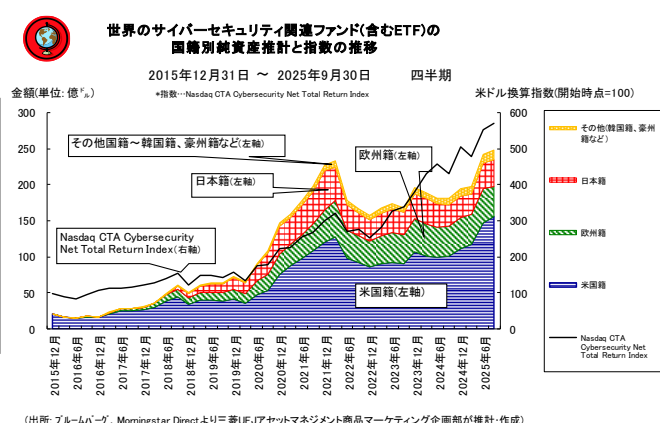
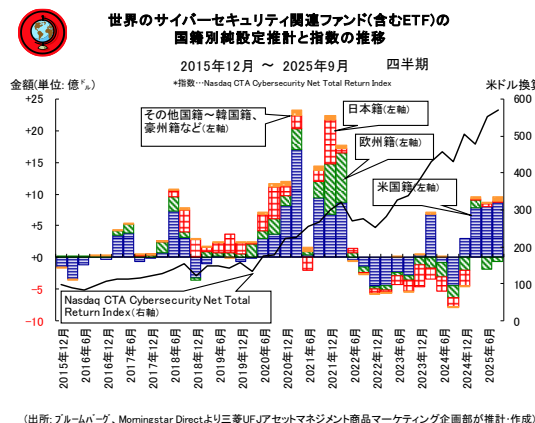
(出所: プルムバーク、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が推計・作成)

投資地域別に見ると、**グローバル地域の防衛関連ファンドは2025年1-3月に+39億ドル/約6,400億円と急速に、かなり大きな純流入となった。** 欧州地域の防衛関連ファンドは2025年4-6月に+25億ドル/約4,000億円と過去最大の純流入、米国地域の防衛関連ファンドは2025年7-9月に+36億ドル/約5,400億円と過去最大の純流入となった。**世界の防衛関連ファンドは2025年9月末の純資産510億ドル/約7.6兆円と過去最大になっている。**

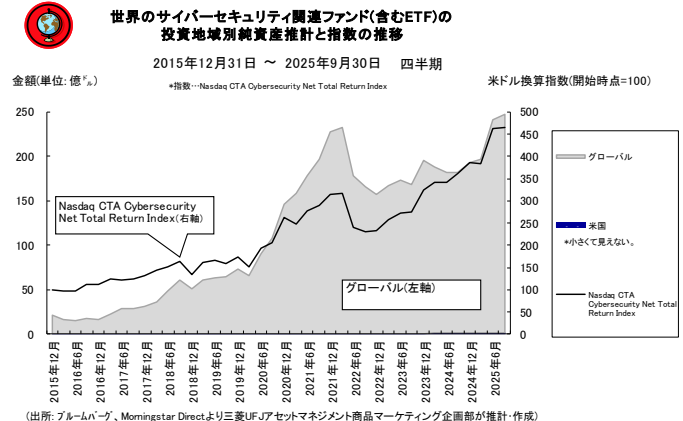
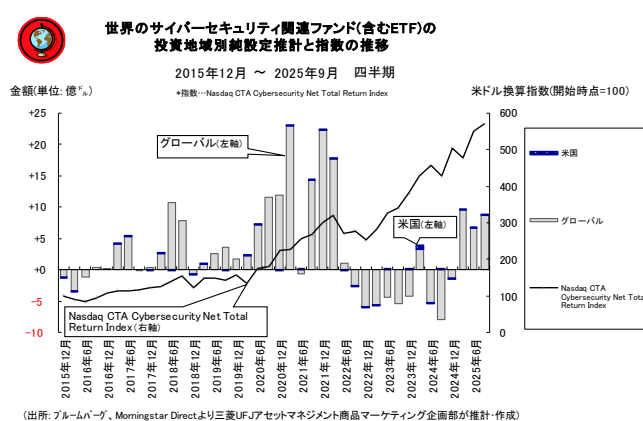


<世界のサイバーセキュリティ関連ファンド>

サイバーセキュリティ関連株に投資する世界のファンド(ETF含む)を国籍別に見る。米国籍のサイバーセキュリティ関連ファンドは2020年から2021年にかけて大きな純流入で、2024年央まで停滞、2024年10-12月から4四半期連続の純流入。日本籍も2025年1-3月に11四半期ぶりの純流入となり、欧州籍は純流出が小さくなっている。



投資地域別に見ると、ほぼグローバルのサイバーセキュリティ関連ファンドであり、2025年から堅調な純流入が続いている。2025年6月末に世界のサイバーセキュリティ関連ファンドの純資産は242億ドル/約3.8兆円と、それまでのピークである2022年3月の233億ドル/約3.3兆円を超えて拡大している。



●米国ではデジタル資産(ビットコイン等)が過去2番目に大きな純流入！

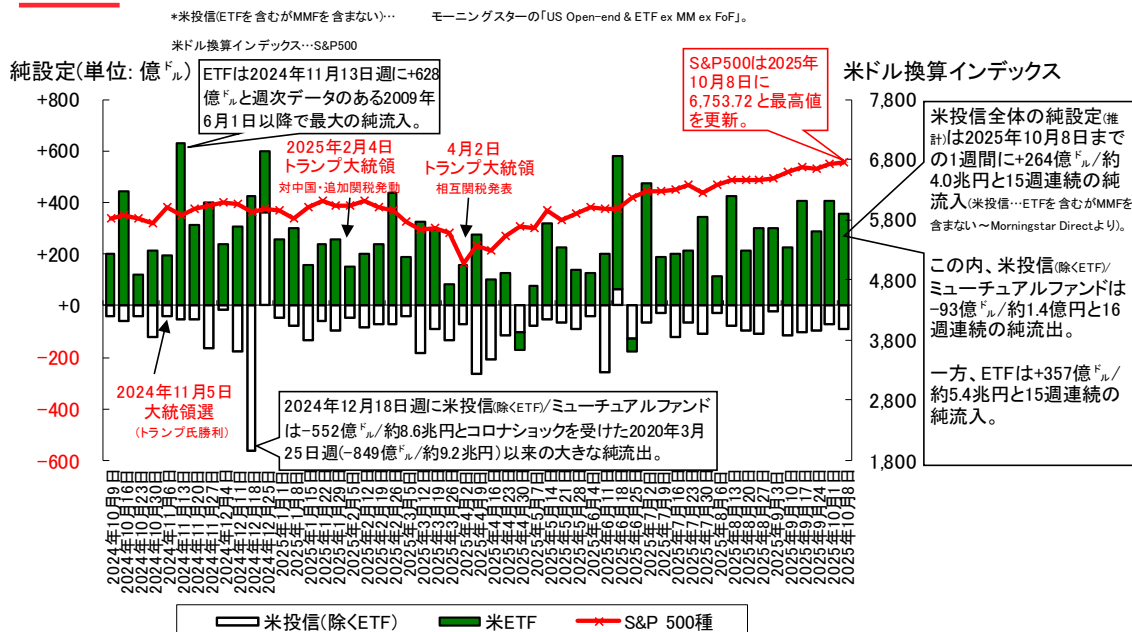
米国籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計を見ると、2025年10月8日までの1週間に+264億^{ドル}/約4.0兆円と15週連続純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。

米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは2025年10月8日までの1週間に-93億^{ドル}/約1.4億円と16週連続の純流出だが、米国籍ETFが2025年10月8日までの1週間に+357億^{ドル}/約5.4兆円と15週連続純流入(継続的なミューチュアルファンドの純流出とETFの

純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その39「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_211127_01)o



米国の 投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移
(2024年10月9日 ～ 2025年10月8日、週次データ)



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品 マーケティング企画部が作成)

*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2025年10月8日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。

純流入1～3位は、デジタル資産(ビットコイン等)、米国超短期債、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)。

純流出1～3位は、トレーディングレバレッジ株式(ブル型)、米国中型グロース株、米国中型グロース株。

S&P500は2025年10月8日に6,753.72と最高値を更新。

純流入を詳細に見ると、債券が+171億^{ドル}と7月2日週(+172億^{ドル})以来の大きな純流入で加速傾向となり、セクター株が+15億^{ドル}の純流入となっている。日本株は+1億^{ドル}と小幅ながら2週ぶりの純流入。商品・フォーカスは+4億^{ドル}と3週連続。オルタナティブが+59億^{ドル}と週次データのある2009年6月以降で2番目に大きな純流入、このうちデジタル資産(ビットコイン等)は+56億^{ドル}/約8500億円と週次データのある2013年10月以降で2番目に大きな純流入で、4週連続で純流入となっている(これまでの最大は2016年11月30日週+113億^{ドル}だが、前週11月23日週に-114億^{ドル})。

一方、純流出を詳細に見ると、米国株が-2億^{ドル}、外国株が-0.9億^{ドル}と共に2週ぶり純流出。



米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2025-10-08現在

*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	Digital Assets	+5,606	+1,323	+11,590	222,468	デジタル資産(ビットコイン等)
2	Ultrashort Bond	+4,405	-7,850	+6,604	432,908	米国超短期債
3	Large Blend	+3,222	+13,805	+21,676	5,638,329	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
4	Intermediate Core Bond	+2,304	+2,638	+6,990	823,147	米国中長期コア債
5	High Yield Bond	+2,081	+2,073	+4,670	327,632	米国ハイイールド債
6	Large Value	+1,531	-38	+3,316	1,616,996	米国大型バリュー株
7	Health	+1,286	-2	+453	117,926	ヘルスケア株
8	Foreign Large Blend	+1,274	+1,629	+6,886	1,352,751	外国大型ブレンド株
9	Intermediate Government	+1,109	+1,837	+4,603	247,733	米国中長期国債(4-6年)
10	Corporate Bond	+1,036	+1,134	+1,726	186,478	社債
21	Commodities Focused	+364	+4,422	+9,027	272,652	商品・フォーカス
22	Equity Precious Metals	+361	+327	+1,152	65,546	貴金属株
41	Japan Stock	+150	-320	-212	40,230	日本株
109	Communications	-376	+462	+291	48,508	通信株
110	Global Large-Stock Growth	-462	-301	-1,597	303,722	グローバル大型グロース株
111	Small Growth	-557	-268	-1,557	196,531	米国小型グロース株
112	Large Growth	-561	-2,869	+2,192	2,646,638	米国大型グロース株
113	Mid-Cap Value	-619	-687	-2,928	268,370	米国中型バリュー株
114	Foreign Large Growth	-723	-717	-6,220	363,627	外国株大型グロース株
115	Diversified Emerging Mkts	-734	-640	+1,155	691,305	グローバル・エマージング株
116	Mid-Cap Growth	-785	-51	-4,568	350,888	米国中型グロース株
117	Trading--Leveraged Equity	-1,184	+1,027	-5,999	137,796	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
118	Small Blend	-2,298	-966	-261	494,509	米国小型ブレンド株
全118分類の合計		+26,416	+32,551	+107,877	24,210,542	
指数名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		+4.55	-1.49	+3.97		
S&P500		+0.65	+1.12	+3.48		
MSCI ワールド		+0.70	+1.14	+3.18		

(出所: Morningstar Direct 及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

以 上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■日経平均株価に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。

■MSCIヨーロッパ・インベスタブル・マーケット・インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。“FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとします。FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。

■S&P/ASX200指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P DJI)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJアセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P DJIは、S&P/ASX200指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任を負いません。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会